

英語で書かれる/ 読まれる 世界の文学

第70回 公開講座

Musashi Univ.

平成31年

3月4日(月)、5日(火)、6日(水)、7日(木)

会場▶本学1号館1階1101教室 時間▶10:00~12:00(全4回) 定員▶先着250名

コーディネーター

ポール・ミンフォード<本学人文学部准教授>

第1回

3/4(月)

ラフカディオ・ハーンが英語圏に発信した日本像

講師 リンジー・モリソン<本学人文学部助教>

第2回

3/5(火)

グローバル文学と支援運動

— シンハの『アニマルズ・ピープル』を通して —

講師 ポール・ミンフォード<本学人文学部准教授>

第3回

3/6(水)

読み書きするシェイクスピア女子

— 近世の舞台芸術ファン活動 —

講師 北村 紗衣<本学人文学部准教授>

第4回

3/7(木)

日本人が愛した英米怪異小説

講師 波多野 直人<本学名誉教授>

【受付期間】平成31年1月28日(月)~2月15日(金)

【受講料】全4回 2,000円(一般)

500円(武蔵大学在学学生父母、武蔵学園卒業生)

無料(高校生、在学生*、後援会会員)

*在学生とは、武蔵大学の学生、大学院生、科目等履修生、研究生、練馬区特別履修生を指します。

許可なく転載することを禁止します。

【支払方法】受講初回に、会場の受付にて現金でお支払いください。

【申込方法】裏面をご覧ください。



3/4(月)

ラフカディオ・ハーンが英語圏に発信した日本像

講師：リンジー・モリソン (Lindsay Morrison) 本学人文学部助教

米国出身。2017年国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科博士後期課程修了。博士(学術)。国際基督教大学ジェンダー研究センター助手、神奈川大学外国語学部非常勤講師等を経て、2017年より現職。専門は日本文化論、日本文学。現在は日本人の「ふるさと」意識の変遷を研究している。

ラフカディオ・ハーン(1850-1904)は日本の「偉大なる解釈者」とも呼ばれています。ハーンは日本語の読み書きがほとんどできませんでしたが、鋭い目で日本人や日本文化を観察して、英語で数多くの随筆や小説を出しました。19世紀のジャポニズムの流行を背景に、西洋ではすでに日本への関心が高まっていた中で、ハーンの文書はどのような影響を与え、どのような日本像を発信したかを本講義で考えてみたいと思います。

3/5(火)

グローバル文学と支援運動——シンハの『アニマルズ・ピープル』を通して——

講師：ポール・ミンフォード (Paul Minford) 本学人文学部准教授

2000年オックスフォード大学大学院修士課程修了(経済学)。2005年より武蔵大学専任講師、2008年より現職。ポストコロニアル文学において、最近の研究では特にコスモポリタニズムに注目している。関連する単著論文に'Rushdie's *Midnight's Children* and Its Cosmopolitan Imaginary' (武蔵大学人文学会雑誌 Vol 49, No.2, 85-112, Apr 2018), 'What's in an "S"? Towards a Pedagogy for "Global Literature(s) in English"' (武蔵大学人文学会雑誌 Vol 48, No.1, 61-80, Nov 2016)など。

1984年、ボパールにあるユニオンカーバイドの殺虫剤工場で発生したガス漏れ事故は世界最悪の産業災害となり、被害を受けた人々や地域に対して企業がいかに長期的に責任を負うかに関する重要な問題を提起する機会となりました。作家で活動家のインドラ・シンハは小説『アニマルズ・ピープル』(2007)でこの問題に取り組み、文学作品がいかに地域住民の経験に声を与え、行動を促し、グローバル化する世界を変える助けとなるかを問うています。

3/6(水)

読み書きするシェイクスピア女子——近世の舞台芸術ファン活動——

講師：北村 紗衣 (きたむら さえ) 本学人文学部准教授

2013年にキングズ・カレッジ・ロンドンにて博士号取得後、2014年に武蔵大学専任講師、2017年より現職。研究分野はシェイクスピア、舞台芸術史、フェミニスト批評。著書『シェイクスピア劇を楽しんだ女性たち——近世の観劇と読書』(単著、白水社、2018)、キャロリン・モラン『女になる方法——ロックンロールな13歳のフェミニスト成長記』(単訳書、青土社、2018)など。

文学において、書くという活動をするのはプロの作家だけではありません。作家が書いた作品を本で読んだり、舞台で見たりするファンも、感想をメモしたり、批評を書いたり、場合によっては二次創作をしたりします。シェイクスピアが活動していた近世から、作品を楽しむ一環としての読み書きを行う人々がいました。この講演では女性を中心に、今と変わらぬファンたちの生き生きとした知的活動を見ていきたいと思えます。

3/7(木)

日本人が愛した英米怪異小説

講師：波多野 直人 (はたの なおと) 本学名誉教授

1948年2月福岡県生まれ。1971年に上智大学文学部卒業、1978年に東京大学大学院人文科学研究科博士課程修了。武蔵大学人文学部教授を退職後、2018年より武蔵大学名誉教授。専門領域はアメリカ文学、比較文学、比較神話学、宗教学。近著に『異教の完成者 史的イエスをめぐる謎』(春風社、2013)、『史的イエスをめぐる謎 豊かなる混沌』(彩流社、2015)。

現代文学に大きな影響力を及ぼす英米怪異小説家のうち19世紀後半以降に活躍した作家、主としてE.G.Bulwer-Lytton、Arthur Machen、Joseph Sheridan Le Fanu、Lafcadio Hearn、Howard Phillips Lovecraftに焦点をあわせ、日本におけるこのジャンルの定着に尽力した平井呈一の業績と関連づけながら、比較文学的視点を交え、文学における怪異、幽霊、心霊、幻想について論じます。当該テーマの考察はSF小説にもつながり、文学のみならず映画や漫画までも射程に入れなくてはなりません。

お申し込み・受講に関するご案内

PC専用申し込みサイトより
お申し込み

▼
<https://www.634.co.jp>

FAX、メール、郵送によりお申し込み

▼
下記の①～⑥を明記の上、
申し込み先まで送信(郵送)してください。

- ①第70回公開講座「英語で書かれる/読まれる世界の文学」
- ②氏名(フリガナ) ③郵便番号・住所 ④電話番号
- ⑤FAX番号(ある方)
- ⑥申込区分(一般、本学在学生父母、本学園卒業生、本学園後援会会員、本学在学生、高校生)

●注意事項

(ア)いったん納入された受講料は返金できません。(イ)講師の病気その他やむを得ない事情により、講師の変更、講義を延期または中止することがあります。(ウ)緊急(休講等)の連絡をすることがありますので、申し込み後、住所あるいは電話番号等の変更があった場合には、速やかにご連絡ください。(エ)講義に支障をきたすような行為があった場合には、会場から退出していただくことがあります。(オ)本学には駐車スペースがありませんので、お車・バイク等のご来場はご遠慮ください。

●個人情報の取り扱いについて

武蔵大学公開講座受講者の個人情報は本学の個人情報保護方針に従って厳重に管理し、武蔵大学公開講座の運営並びに本学からの各種講座のお知らせ及び統計的集計を行う目的以外に使用することはありません。今後、本学からの各種講座の案内を希望されない場合は、お手数ですが、武蔵大学 大学庶務課(03-5984-3713)までご連絡ください。

※本学在学生、高校生の方は、当日学生証または生徒証をお持ちください。
※お申し込み時点で定員に達している場合は、こちらからご連絡いたします。
※携帯電話でメールを送る場合、ドメイン指定受信をしている方は、申し込み先アドレスを受信するドメインに設定してください。

「受付票」は2月22日頃発送いたしますので、当日お持ちください。

お問い合わせ
お申し込み先

(株)武蔵エンタープライズ

〒176-8533 東京都練馬区豊玉上1-26-1 (武蔵大学内) TEL : 03-5984-3785

FAX : 03-5984-3787 E-mail : kouza@musashi.ac.jp URL : <https://www.634.co.jp>



MUSASHI
UNIVERSITY